

事業ごみの分別・処理について

1 施設から排出するごみ（事業ごみ）は、以下のとおり分別し、適正に処理する。

区分	説明	処理
産業廃棄物	プラスチック、金属、ガラス・瀬戸物など（缶・びん・ペットボトルを除く）を種類毎に分別する	産業廃棄物処理業の許可業者に処理を委託するか受け入れ可能施設に搬入する
紙類	リサイクルできるものに限る	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般廃棄物収集運搬許可業者に回収を依頼する ● 古紙回収業者に回収を依頼する ● 事業系紙類回収庫へ持ち込む（無料で利用できます。機密文書は持ち込めません） ● 古紙問屋へ持ち込む
缶・びん・ペットボトル		<ul style="list-style-type: none"> ● 一般廃棄物収集運搬許可業者に回収を依頼する ● 市の資源化センターまたは民間の資源化施設へ持ち込む
上記以外のもの（可燃ごみ）	産業廃棄物、紙類及び缶・びん・ペットボトルが混入しないよう分別を徹底する	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般廃棄物収集運搬許可業者に回収を依頼する ● 市の焼却工場へ持ち込む

2 資源循環の推進の観点から、可燃物に産業廃棄物、とりわけプラスチック及びリサイクル可能な紙類が混入しないようにごみ箱を分けるなど対策をとる。

3 産業廃棄物の処理は、リサイクルを基本とする。

4 産業廃棄物の処理を委託する際に使用する産業廃棄物管理票（マニフェスト）は、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが運営する電子マニフェストを使用する。なお、電子マニフェストを使用できない場合には、紙マニフェストを使用するものとする。